

平成30年度第3回 名張市地域公共交通会議 事業推進部会 議事概要

日時 平成30年10月11日(木)

午後1時30分より

場所 名張市役所 404会議室

出席者：(敬称略)

(1) 委員

中平 恭之	(近畿大学工業高等専門学校 准教授)
豊永 育子	(公益社団法人三重県バス協会)
姫野 光子	(名張市老人クラブ連合会女性部副会長)
勝木 祥文	(名張商工会議所 総合商業部会長)
石川 裕三	(市民公募)
藤本 勝	(市民公募)
田摩 雄一	(市民公募)
木寺 正仁	(市民公募)
田中 明子	(名張市地域環境部部長)

(2) 事務局

都市整備部都市計画室2名

1. 開会

2. 議事

(1) とれたて!なばり2018における公共交通利用促進の取組について

(事務局より資料に基づき説明)

- 委員 公共交通利用状況アンケート調査の中に性別を入れている意味というのは何かありますか。
- 事務局 男性、女性で、例えば利用の目的などが大きく違うとか、そのあたりが参考になるかなというところで入れさせていただいたところです。
- 委員 バスの乗車に関して男性と女性で確かに女の人の免許の取得率などを考えていったときに敢えて性別を入れる必要があるのかなというのが一つ疑問です。続いて二つ目ですけれども、職業の欄の専業主婦は職業でしょうか。
- 事務局 他市のアンケートの例を基に作成したものになりまして、職業に入れるか疑問な部分もあるのですが、お答えいただく方がいるかなと想定いたしまして、ここに入れさせていただきました。
- 委員 専業主婦というのが職業になじまないです。
- 事務局 検討させていただきます。
- 委員 職業に学生というのも…。学生は職業ですか。
- 事務局 職業という区分にしてしまうと学生が職業になるかっていうことになっていってしまいま

すが、普段の立場とかそういったところでの利用状況とかを把握するためにこういった区分をさせていただいております。

委員 職業または身分はどうでしょうか。

委員 職業の標記を変えるか何か一言がいるのかなと。

事務局 このアンケートなのですが手渡しでまるを付けていってもらうものではなく、調査員がつき、口頭で質問して答えていただくというものになっております。

委員 アンケートの9番なのですけれど、最寄りのバス停とバス停までの時間というのはどういうことですか。

事務局 徒歩の時間です。

委員 徒歩で最寄りのバス停まで何分かということですね。

委員 これは最後のところで仰られていましたけど、マイ時刻表に申し込みを広報で提示してやっていくというのは決まっていますか。

事務局 決まってはいませんが、そういった形で例えばホームページに載せさせていただいても、見ていただく方はなかなか限りがあるところですよ。広報という媒体は広く市民の方に見ていただいているかと思しますので、こういった取組を通じて、バスの利用について、もうちょっと身近に感じていただくということも意識付けできるのではないかと考えております。

部会長 ちなみに先程のアンケートの性別なのですけれども、実は男性と女性で結構な違いがありまして、ですのでこの後、どう使うかにもよるが個人属性の一つとして性別を聞いておくというのはいいのかなと思います。専業主婦についてですが、けっこう昔、社会調査の中で、働きたいけど無職なのか、専業主婦というのは働く意欲がないという、ずっと家にいますよというのを分けたような社会調査を一時やられていたのがありまして、その名残があるのかもしれないけど、意外に今、専業主婦というのを聞かない場合が多いです。学生については一応、聞きます。年齢が高いけど学生であったりすることがあるので、大学院生も学生に含まれますので、年齢だけではわからないところを聞きたい場合には学生かを聞く場合があります。収入が社会人の方と違います。15年前くらい前までは収入が聞けましたが、今、個人情報関係で収入が聞けません。

委員 職業という標記をやめたらいいと思います。普段の生活とか、日中の主な活動時間に何してありますかなどにすればいいと思います。それだったら専業主婦って入れていても良いのかも知れないです。職業というカテゴリーにするから馴染まないのではないかととらえてしまいます。

部会長 大まかにお仕事をされているのか、されていないのか、学生でしていないのかどうかというところがたぶん職業のカテゴリーで一番大事になってくると思います。当然65歳以下の生産年齢人口の人たちは公共交通機関の利用が極端に低いというのは、全国的にはあっているので、ただそこを、なるべく崩していきたいというか、どういうふうに使っていくのかということだと思います。

委員 「とれなば」に来ていただく方が千人以上の方はおいでになって、そのうちの何パーセントの人がこのアンケートに答えてくれて、標本数がいくらになるかという所にも関係してくるので、たくさん採りたいのであれば、あまり誤解のない様にサラサラと答えていただけるよ

うな標記に変えた方がいいだろうし、調査員がついてじっくり聞き込んで、じっくり引き出したもので、標本数は少ないけど精度が高いとするのか、そのあたりも、どういう集め方するかによって数でこなすのか、質でこなすのか、変わってくるのかなという気はします。ようは後の使い方どうされますかというのが。

委員 ちなみに「とれなば」に来た人の中でお絵かきバスとか、この取り組みに来た人に聞くのですか。

事務局 はい、そうです。

委員 バスブースに来た人だけですか。

事務局 はい、お越しいただいた方にさせていただきます。ですので、会場全体で大々的というわけではありません。

委員 データの使い方としてみたら、このイベントに来てくれる人たちの属性というのはどうなのかということになりますね。

委員 私、さっき自分で答えたらどうかなと思って読んでいったら、6番の標記がややこしくて「はい」と答えた人は7番へ行って、乗っているときはほぼ毎日とかだけど、「いいえ」と答えて8番へといわれて8番を読んだら、「普段、車（バス）でどういった外出をしていますか」と書いてあって、バスを利用しますかは「いいえ」なんだけれども普段バスでどういった外出をしていますかとなってしまっています

事務局 質問を一個抜いてしまったと言いますか、普段の移動手段でどういった外出をしていますかという風にお聞きしたいものになります。

委員 設問がもう一個あったのですね。

事務局 はい。バスに限らず普段の移動手段でどういった外出をしていますかというニュアンスで聞きたいといったところです。

委員 ここの設問を変えた方がいいかもしれませんね。

事務局 このアンケートについては、直接、アンケート用紙を対象者の方に書いてもらうわけではなく、こちらの方の聞き取りで対応させていただくところも基本的には考えているので、そのあたりについては、紛れのないような形でご案内して、お答えはしていただけるようにしたいと考えています。

部会長 例えば、女性の方に年齢を聞く場合は女性が聞いていただかないと、聞けないですよ。今、多分聞いてはいけないのではなかったかと思います。

委員 これ何歳代と答えますよね。

委員 おいくつくらいかって聞きにくいですよ。

委員 もう一つ項目があって、3番で「答えたくない」という選択肢を作らないといけません。男性でも女性でもないという形で3番をつけて答えたくないという。

部会長 これはでも、アンケートを聞く人がもう見た目でつけられるので、それで付けてもいいのではないですか。

委員 お絵かきバスの方に去年と今年行ったことがあるのですが、ここに来る人で、学生さんはいないかなという気がします。

事務局 そうですね。確かに学生さんがお越しになって、そのアンケートの対象になるのは少ない、

もしくは可能性としては、ないかもしれません。

委員 皆さんに普及されていないですね。

事務局 お絵かきバスってというのは、どちらかという小学生以下のお子様がいるようなご家族が来るようなところでもありますので、お絵かきバスにお越しいただいた方を対象としてアンケートの聞き取りをするのであれば、当然、学生さんとかは無いかと思いますけれども、このアンケート調査を聞かせていただくのは、そういったイベントでお越しいただく方々が、こういった普段の移動をされているのかというのを把握してみたいということと、それから、そこを入り口としてマイ時刻表というものを、普段、車で移動されている方であっても、もしそれをバスなどの公共交通に置き換えたときに、こういった方法になるのか、時間がかかるのかという所も含めて、お知りいただくことというのも良いのではないかということで、その入り口としてのアンケートという意味でもこういった形を取らせていただこうと思っているところです。

委員 このアンケート調査の質問内容に答えたくない方はアンケートに拒否されると思います。だから、あんまりシビアに考える必要はないかと思いますが、そのへんはどうですか。

事務局 もちろん、無理強いすることはありませんので、お答えいただく中でも、やはり答えたくない項目がありましたら、当然そういったこともありますので、そのところについては聞き取りという形を取らせていただくので、「×」とかそういった対応をさせていただいて集計させていただけるのかなと思います。

委員 お絵かきバスってというのは走っているのを見たことがありますが、これは直接バスに絵を描くのですか、それとも学校で描いたものをプリントしているのかと思ったのですが、その場で白い部分に直接描くのですか。

事務局 バスを真っ白にさせていただきまして、区画分けをして抽選で子供さんたちに描いていただくというものになります。

委員 とすると、まさに来られる方というのは子供を連れてるお父さん、お母さんもしくはおじいちゃん、おばあちゃん、そういう人が対象になりますよね。子供がいなくてこのブースには来ません。アンケートの内容は別にして、そういう場所で正確な情報が取れるのか、おそらくこの方たちバス乗ってない人がほとんどじゃないのかなという気がします。

事務局 そういった方たちが大多数だと思われまして、ご家族で、それこそおじいさん、おばあさんとお越しいただいている方も多くみえるので、そういった方たちも含め、聞き取りをさせていただければなと思います。

委員 私が思っているのは、おじいさん、おばあさんもきっと孫と一緒に、バスで来るのは難しいのかなという気がします。おそらくほとんどの方が車だという理解のなかで言うと、「とれたてなばり」にせっかくいろんな方が来られるわけですよね。もちろん車の方が多いと思いますが、もう少しアンケートのする枠を広げたらいいのではないかと思います。バスブースだけでしても、資料としてどれくらい有効なのかという気がするのですが、来られる方が千人以上ということですが、その中で抽出して年齢、性別などでターゲットを絞ってしていくなど、そういう風にした方が有効なアンケートになると思います。バスブースに来る人だけだと、せっかくやるのに大きな成果が得られないという気がするのですが、いかがでしょう。

- 委員 座って待っているのではなく、やっぱりアンケートしたい対象の方はそれなりの年代の方がいらっしゃっていると思うので、座って待つのではなく、高齢者の方にもボールペンの一つでもプレゼントして、せっかくの場所ですのである程度のターゲットで広くアンケートをとるべきだと思います。単にこのアンケート目的は、マイ時刻表だけなのか最後の10番にありますように、どのようにすればより良くなるのかということにもっと重きを置きたいのであれば、ゆっくりと時間をかけて、流れ作業のようにハイハイというのではなく、じっくりとお話を聞くせっかくのチャンスなのかなと思いますので、時刻表だけなのか、どのようにすればいいのかという10番をじっくりと聞きたいのであれば、やっぱり時間をもってアンケートをお一人ずつじっくりと聞くのがいいと思います。ということは子ども連れだけ聞くと意見は偏ってくると思います。
- 委員 口頭で聞くということですから、ここで今、実演していただいてもいいのですが、そういう形のものだから先程の職業は、「お仕事は？」とかいう聞き方になると思います。そういう意味では、あまりこの中身は重視する必要はないのかなと思ったりします。それと今、仰られたような形で、もっと多くの人を対象にということであれば口頭で聞くわけにはいかないですね。担当の方が何人いるのか、私たちが動員されるのかわかりませんが、そういう形で書いていいというアンケートであれば、なんとでもなるとは思いますけど口頭で聞くとすると、ちょっとそれは難しいですね。
- 委員 ボールペンか何かプレゼントされるのであれば、持ってきていただいたら交換するという形もとれるのではないかと思います。その方がより大きな資料になるような気がします。もちろん、内容をもっと精査しないと難しいところが多々あると思いますが一般にすべてを晒してアンケートしていただく場合はね。
- 委員 そういう場合は、この文書だけだと拙いのではないかと言う話にもなりますし、その目的とかすべて書いていないとアンケートにもならない可能性もありますね。
- 委員 何かボールペンでも一本くれるとけっこう、皆さん、してくれるのではないかと思います。
- 委員 このあいだ、津祭りがありアンケートはしなかったのですが、やっぱり高齢の方ですと、立っておりましても本当にご意見がある方は話しかけて見えますね。「私は免許を返納したけれど、奥さんが持っているからいいけども」というようなお話を淡々と、イベントの中でも立って居りましたらご意見がある方は話しかけてくれます。普段、どこで言ったらいいかわからないのでこのバスのこの場所で、という方もいらっしゃるかも判りませんので、そういう意見もスタッフが聞き留めて、こういう場でこういう意見もあったということで、アンケートも必要と思いますけれど、口頭で聞くということですのでお話を聞いてもいいのではないかと思います。
- 委員 アンケート調査の取る場所は何か所かあるのですか。このバスの位置だけですか。例えば駐車場とか、どこかに居たりとか、何か所かに分かれて調査をするのですか。
- 事務局 今、現在、想定していたのはお絵かきバスの周辺でスタッフ2～3名程度で聞取りを実施させていただこうと考えています。
- 委員 そうしたら、何名以上調査をするという目標はないのですか。
- 事務局 終日、調査を実施させていただくつもりで、より数多くと思っておりますが、初めての試み

でもありますので、いまもってどれくらいの方が答えてくれるのかもわからないので、目標の人数という設定はさせていただいておりません。

委員 でも、人の出入りするすごくいい場所ですので、うまくキャッチすれば止まっていたりかもしれないです。

部会長 アンケートの目的で、たぶん聞き方が違うと思います。例えばバスのところだけでやるならば、バスのブースに来た人たちが、どういう意見を持っていて普段どういうふうな人たちなのかということを知るのも一つだし、お祭りに来た人に向けてするならばお祭りに来た人たちのバスの利用状況とか、バスにどういう意見があるのかを聞くのと、一般的なアンケートは無作為であるので、それは市民の皆様の意見を聞きますというので、何処を知りたいのかによってアンケートのやり方は変わってくると思います。僕は当初、バスのイベントに来た人たちが次のイベントをやるときのための参考にするためにこのアンケートをとるのかなという感じはしていたのですが、祭りに来た人の属性であれば、ちょっと意味合いが変わってくると思います。ただ単に意見を聞くならば一番下だけ聞けばいいわけなので、何ていうことではないと思いますが、それでもいろいろな属性を聞いたり普段の移動状況を聞くのであれば、それぞれの目的に応じてすると結果は違ってくるかなと思います。

委員 セっかくなので仰るようにちょっとバスのところに机の一つでも置いて「バスに対するご意見をお聞きします。」というようなことをしたら、その中でバスに対する意見のある方が来られますよね。

委員 机4つでも繋げておいて、椅子6つくらいおいて、二人なら二人でアンケートいただいたらボールペンか何かを差し上げるといいと思います。意見のある方はそこで言うと思いますので、なかなか高齢の方がペンをもってなかなか書きづらい、わざわざ電話して言うのも普段は言いにくいしというところの本当のお気持ちが出るのかなと思います。何もない方で本当にペンが欲しければ、すつと置いてくれると思います。

委員 このアンケートは初めてですか。

事務局 イベントでは初めてです。

委員 目的が今回についてはマイ時刻表を作るのであれば、もう、そんなに難しく考えなくてもバス停と、簡単に聞いていけばと思います。

委員 目的も書いてありますけど、この目的を実現するのは「お絵かきバス」と結びつくのかなと思います。さっきから言われているように色んな所で色んな人に聞くということがこの目的の中に、そういう目的と方法とを一致させるのであればなぜお絵かきバスであるのか私もちょうと分かりにくいと思います。

委員 これ、公共交通利用状況アンケートといいながら、聞いているのは「バスを利用するようになりますか」で、バスしか聞いてないのですよね。公共交通とそんなに大きく構えたら意外と何も聞いていないです。

委員 電車もそうですしね。

委員 路線バスやコミュニティバスの利用促進というふうターゲットを決めてしまえば、バスブースに来てくれた人に対して一緒にコミバスって、こんなの走っているんですよというようなチラシ、別にボールペン一本差し上げてもいいけれども、そこに市内にはこんなコミバス

もありますよという啓発を兼ねたチラシもお渡しをすれば、バスについてのことを聞いているなどということでも目的に近づくのかなという気はしますが、行き先別の時刻表などを、この場所で一緒に配ったってもらうのはどうでしょうか。

事務局 テントを設けまして、机と椅子を置かせていただきまして公共交通の情報発信コーナーとして設置しまして、その中でアンケート調査、マイ時刻表で、そしてさっき言っていただいた行き先別時刻表の周知であるとか、各コミバスが何処を走っているのかということも路線図等もパネルで展示させていただきまして、バスがメインになってしまいますが、市内の移動、こんなのもありますよという情報発信も兼ねてさせていただこうと思っています。

委員 バスコーナーにしたらいいいのでは。

事務局 その方がいいですね。

委員 お絵かきバスを描く場所は、あんまり奥までバスが入ってこれないので、入り口のバスのロータリーになっているところから一段バスが上がって歩道の上くらいでやるのですね。

委員 なぜお絵かきバスなのかということもあったのですが、お子様にもご家族にも人気がありまして、実際には自分の名前を書かれる方も結構多いのですが、その当時のキャラクターを描いたり、色々好きなように一枠に描くのですけれども、実際にお子さんとかお孫さんとかが描かれた方もいるかと思いますが、もしかするとバスに乗ったことが一回もない子が描いている子もいらっしゃるかもしれませんね。聞いてみると乗ったことがあるとしたら遠足等での観光バスですね。その中でバスに実際に乗ってみて、乗用車よりも背が高いし、視界も違うしということでも実際、今度は自分の描いたバスに乗ってみようかなというきっかけづくりとして実施しています。まずはイベントでバスに寄って来てもらう。結局、子どもが乗ることによって、おじいちゃんおばあちゃんが「子ども一人では危ないし、家族で乗りましょう」ということで、じゃあバスはどうやって乗る、お金払って乗るというきっかけづくりというイベントなのかなと思います。

委員 去年、実際、孫が描いてその位置もだいたい覚えていて、道路を走っているときに何回か描いたバスを見たのです。しばらく追いかけてみたがどこに描いているかなかなか分かりにくくて、子どもが「あのバスや、あのバスや」と言うけれども、外から見ていたら分かりにくいので、もう少しパッと分かるような方法はないのですか。

委員 テクニックですよ。すごく目立つ子のものは多分何回か描いていると思います。うまく目立つように描いていますね。

委員 場所にもよります。

委員 はい、今年は知恵をつけていただいて…。

委員 太い字で書きます。

委員 太く塗るんじゃなくて、毎年楽しみにくる子は黄色なら黄色で自分の枠を塗ってしまうんですよ。それから自分の名前書いたり、日付を書いたり、ドラえもんを描いたりとか、そうするとバスが走っていると黄色の枠が目立ちます。それとか、それぞれ子どもが描くスペースをテープでマーキングしているので、これ終わりましたら全部テープを剥いでもしまったら、意外と区切りが分からなくなります。慣れた子なら自分のスペースに四角を作ってから描いたりするんです。

- 委員 描く場所は抽選ですか。
- 委員 抽選ですね。
- 委員 そのバスはどれくらいの期間走りますか。
- 委員 今の新しいノンステップバスはスペースが少なくなっていて、ノンステップバスには描いていないです。三重交通もお絵かきバスには使わない。昔ながらのステップのあるバス、昔のバスの方が描くスペースが広いものですから、よりたくさんの方に120から150くらいのお子さんに描いていただけるので、外れても次回ということがありますので、だいたい聞いておきますと、基本、廃車前の車ですので、もし今年、名張市さんで1台しか走ってなかったら、今年まだ、そのバスがありましたら、もしかすると去年のを塗りなおして持ってみえるかもしれません。
- 委員 営業所単位で違います。
- 委員 消すのではなく塗りなおすのですか。
- 委員 塗りなおします。
- 委員 私はてっきり貼っていると思っていました。
- 委員 実は当初、前も描きたいという意見もあったのですが、法律上前面はどこのバスが来るかわからないのでお絵かきは出来ないということで両サイドと後となっています。津市は3、4台走っていますので、お絵かきバス見つけてもどれが自分が描いたバスかもわからないので、先日、津市さんにはシロモチ君というキャラクターがいるんですが、最後にバスのドア一面に大きなキャラクターを津市さんで描かれて、そうするとシロモチ君を見つけると「あ、津祭りで描いたバス」と、みんな愛着が出てバスが動いていくのも感動的に見えます。そういう意味でも子供向けのイベントではあるのですがきっかけ作りにと 생각합니다。
- 委員 絵を描くのに年齢制限はあるのですか。
- 委員 ものすごく人気があるので、一応小学生以下としています。中高生でも書きたいという子はいるのですが、それは名張市さんにお任せしています。
- 委員 小学生以下ですね。
- 委員 お任せなので、名張市さんが小学生と決められるのか、高校生以下でもいいと決められるのか、大人でもいいといわれるのか。
- 事務局 去年は小学生以下ということで、小学生は大丈夫です。
- 委員 6年生までいけるということですね。
- 事務局 たぶん人気なのでそれ以上は引き上げられないと思います。抽選で外れてしまう子がどうしても、一回の抽選に5、6人ぐらいいはいますので。
- 委員 大人の方も一回広げましたら会社のPRが書いてあったりして広告ではないのでということで、ちょっと下げようということになりました。
- 部会長 そのほかございませんでしょうか。
- 委員 結局アンケートはブースに来ていただいた方に特化しますか。
- 委員 どうするかですよね。
- 委員 求めるものによります。

- 委員 最後の項目が欲しいのだったら、ちょっと無駄な気がします。
- 委員 あんまり属性で調べるというのも、ある程度ほかのところで傾向が分かっているなら、運転免許証の有無くらいからでもいいと思います。
- 委員 そうですね。
- 委員 地域によってもピンとくるのはバスがたくさん走っている地域とそうでない範囲地、例えば赤目では朝と夕方しか走ってませんものね。バスに乗りたくてもバスがないという地域もあるから、あんまり地域によって差を見ようといったって既にそれはある程度、把握された話の中だったら、運転免許の有無くらいから以下の項目にしているのかなという気もするし、それから来る年齢層が高齢者だという話がさっきから出ているのであるなら、あんまり高齢者の60代70代80代と区切って聞いても、あんまり意味のない様な気もするし、それより広くデータを取りたいのであれば、免許証を持っているかどうかくらいからの話だったら、後でどういう使い方をするのかにもよりますが。
- 部会長 何サンプルぐらいとれるかですよ。サンプルが結構な数とれるのならば色々な個人属性を聞いておけば、こういうイベントの時にこういう風な傾向がありますと分かるかもしれないですけど。
- 委員 50や100での属性を分類してもあまり意味がないし、1000以上超えないと属性では傾向はわかりませんね。
- 委員 3人で取るアンケートで数が知れていますね。
- 委員 1日50人として3人で150人でしょう。それはれそれでいっぱいいっぱいだと思うんですよね。あっても100人、その中に一番最後の「どうすればバスに乗りますか」が一番のテーマなのかなという気がします。
- 委員 それも答えが難しいですね。
- 委員 普段、路線バスかコミュニティバスを利用しますか以前に、知っていますか、というところから入ってもいいのかなと、コミュニティバスを知っていますかくらいから聞くといいと思います。
- 委員 コミュニティバスは本当に行くところが限られていますから。
- 委員 例えば、50とか100の中に路線名を聞いても、10回答あったらいいのではと思います。美旗は結構、利用しているという話ですが。ここは認知度を聞いた方がいいのかなという気がします。
- 部会長 普段、利用していない方は、バス停あるというのは分かっているんでしょうけど最寄りのバス停の名前を知らない可能性がありますね。
- 委員 バス停の名前まで知らないでしょうね。
- 委員 先程事務局の方が初めてのアンケートで、職員は2人ないし3人での聞き取りの範囲内ということだから、サンプル数をどれくらいとるかという目標設定はしてないと回答していただきましたけど、それなら、逆にもう少し広い意見を聞けるような内容に変えて、それである程度、バスブースに来る人に特化したなかで、その中で100とか150の少ない項目であったとしても事務局側が意図する内容が聞き取れるような内容に、

このアンケートの項目をちょっと手直ししてもいいのではないかと、これではあまりにも、聞きたいことと離れていっているという気がします。アンケートの良さはたくさんの中でカテゴリー別に分類、分析していくという方法があると思うけど一つのイベントの中で職員が聞き取り調査をする限られた時間内、限られた人にしか聞けない時は、結果に対して偏りが出てくるということも考慮して、することを考えたら、もうちょっと、このアンケート調査を本当に聞きたい内容に沿ったような形で変えたらいかがでしょうか。

部会長 では、要検討ということで。最後にご意見をお伺いしますので、まずは次の議事の方に移らせていただきたいと思います。議事の（２）ケンコーマイレージポイントの市街地循環型コミュニティバス「ナッキー号」の乗車券引き換えについて事務局よりお願いします。

（２）ケンコーマイレージポイントの市街地循環型コミュニティバス「ナッキー号」の乗車券引き換えについて

（事務局より資料に基づき説明）

部会長 ただいまの説明に対して何かご意見、ご質問はございませんか。交換申込書にせっかく住所、名前、連絡先を書いていただくので交換される方がどれくらいいらっしゃるのかにもよるのですが、何か注意書きでもしておいて、「この情報を基に市からアンケートしていただく場合もあるので、予めご了承ください」と言っておけばナッキー号の利用に関して結構な人数が、もしいらっしゃったら今後活用できるかと思います。注意書きがなかったら、この情報使えなくなっちゃいますから。

委員 個人情報関係で目的外では使えないですね。

委員 申込書は書いたら引き揚げてしまっって本人さんの手元には何も残らないのですか。

事務局 そうですね。今の想定では手元に残らないことになってしまいます。

委員 いま先生がおっしゃっていただいたことは相手さんの手元に残っていないと意味のないことになるので二段書きぐらいにしておいて、ナッキー号発行はこんなタイミングでどうたらこうたら書いたように注意書きを相手さんの手元に残るような形にしたら、A4の紙1枚の上下にしておいたらいいと思います。

事務局 そうですね。

部会長 そんなに多くはないのかと想像するのですが。

委員 こちらに交換する人は、イベントで見ていると、あちこちで一生懸命ポイントを集めてみえるので、ケンコーマイレージそのものについては市民への浸透はそれなりに図れているので、ナッキー号の交換でどれだけくるか、予算をたてるのが難しいですね。

事務局 実際に収入としてナッキー号の乗車運賃が減ることなので、これは実質的に予算はかからないかと思えます。

委員 百円の分は補てんしないのですか。

事務局 ナッキー号は委託料の予算はありますけれども、運賃は運賃収入で、別で市に直接入ってきております。

委員 分かりました。運賃収入として三重交通の手元にお金プールされるのではなくて、それが一度、市の歳入として入ってくるから、別だての予算は必要ないですね。どれだけ利用し

でもらっても市の収入が減るだけであって、三重交通への委託料として、一定額出している部分については三重交通は損しないということですね。

事務局 そのとおりです。

委員 それで予算のことは触れていないんですね。

委員 とはいえ、全体的には収入が減るということですね。

事務局 もちろんそうです。

委員 ただ、外に元気に出て行っていただくことで健康寿命の延伸を図るというのが大きな目標です。医療費を使わずにおいでいただくというのがありがたいという話です。

委員 ナッキー号だけでほかの乗り物はダメなんですよ。

委員 これからですね。ナッキー号ベースでちょっと試運転のような感じですね。

一つの意見ですけどね、桔梗が丘の協議会なんかはね、積極的にケンコーマイレージを推進していないんです。だけどころやってナッキー号などいろんな企画の中で、これはそういう意味ではなんとなくいい方向じゃないですか。何にもないより、今まで「とれなば」だけで500円で使えるだけではなく他にも考えられているということは、そういう所に対しても、もうちょっと積極的に取り組む姿勢が出てくるんじゃないかと思います。

委員 よろしいでしょうか。最後にまた、ご意見を聞かせていただきますので、次の(3)の議事に移りたいと思います。

(3)「コミュニティバス停留所に関するガイドライン」について

事務局 (事務局より資料に基づき説明)

部会長 はい、ありがとうございます。只今の事項に関しまして何かご意見、ご質問はありませんでしょうか。以前からかなり皆さんに議論していただいているところですが、路線ごとに色は分けるのでしょうか。例えばナッキー号だと紫とか。

事務局 今、それぞれの協議会さんがコミュニティで持っている色というのがございまして、一部、重なりもあるのですが、その個性を反映した形でうちの地域のバスは何色だと、今時点で浸透していただいているものがあると思いますので今をもって変更というのは考えていません。

部会長 乗り換えの拠点になるところだと当然、2路線入ってきたりすることもあるし、そういった場合の色をどうするか、ナッキー号だけが止まるバス停ならよかったと思うんですけど。2つ重なるところはどうするのでしょうか。

委員 という話はしてたけど、これでいったら結局、元に戻ってしまって乱立しますね。

委員 たくさんのところは、大きいのを置きましょうという話でしたね。

事務局 拠点となる市役所、桔梗が丘駅、名張駅などこういった乱立しているところに関しては、こういった大型の掲示板で一気に分かるようにという形になります。

委員 その際は、各コミュニティバスが色ではっきり分かるように今、バスを利用している人が戸惑わないようにということですね。

委員 乱立するのが市役所の前と桔梗が丘のところぐらいですからね。この2か所ぐらいしかないのだったら、そんなにゴチャゴチャした路線図にはならないですね。今、高齢者が自分の行

き場所がわからないんじゃないかと心配してくれていますが、そんなにもゴチャゴチャしないのではないかと思います。

事務局 この例に挙げている写真は、たくさんの路線があると思うんですけど最大でも5路線ぐらいなと思います。

委員 そうですか。私もあまりバスに乗らないからなんですけど、これ見たら見にくいんじゃないかと思えますね。

委員 このレイアウトは、今後検討していくもので、こういうイメージですよという写真だから、これをしますとは言っていないです。これくらいの大きさのもので相乗りしてくるようなところの路線を表示しましょうと、それを1枚にしましょうと言っているだけなので、高齢者の方が見やすいようなレイアウトも検討できると思います。

委員 そうですか。

委員 これをみたら私でも見にくいなと思えますけど。

委員 せっかく、各バスでもし色を決めるのであれば、マップに落してくると思いますので例えばナッキー号はナッキー号の色など決まったカラーがあればその色で落していけば統一性があると思います。

委員 いまのところ、コミュニティ路線で色が被っているところはそんなにはないと思います。

事務局 ただ、錦とはたっこ号は赤色のバスで運行しており、コモコモ号とみどり号は三重交通さんの車両のバスになりますので、三重交通と合わせて3つ同じ形のバスが…。

委員 バスの車体の色もですが、路線に色を付けるのだったら錦とはたっこ号が同じ赤になってしまふのかなって言うことで、今仰っているのは車体の色ではなくて路線の色ですね。

委員 それマップに落ちてきたら統一性があるので、もし被っているのであれば連携協議会で色を決めてもらったらいいのかなと思います。

事務局 路線の色に関しては各コミュニティバスで、自分は何色というのは、たぶん無いかなというふうに思います。

委員 あとから直すということはなかなか大変なのでこの機会に決めるのがいいと思います。

委員 出来れば統一した方が良いのだけれども錦生と美旗が両方、赤だというのは…。

部会長 絶対、避けた方がいいです。一回決めてしまうと、その路線が廃線になるまでその色でずっととなるので、たぶん案内が全部、作ってしまいますね。

委員 ただ、西と北だから路線的には競合しませんね。はたっこ号は桔梗の駅は行くけど名張まで行っていないはずだし、錦生は市役所までは乗り入れてはいるけれども桔梗の駅までは行っていないはずだから路線的には被っていないはずです。

委員 ただ全体的に1枚のマップに落した場合はあっちとこっちといえども、もしかしたら乗り継ぎの移動で、例えば赤に乗って紫に乗ってもう一回赤というのはちょっと…。譲れないというのであれば、それはしょうがないですが。

委員 路線数が少ないのでいくらかでも色がありますからね。

委員 赤にこだわっているということであれば同じ単線ではなく、一つは二本線にするとか、同じ赤でも表示の仕方が違うということでは差別化は出来るかなとは思えます。

事務局 色覚異常の方の事を考えるとなかなか難しいんですけど、ちょっとそのあたりについては、

今度の連携協議会の方でも投げかけをさせていただいて、路線図にするときのイメージ色について投げかけをさせていただきたいと思います。

委員 前に、はたっご号のこんな地図を資料でいただいたときに、これ新しくやったのが青と赤で2路線、こんなふうに相互で動いていますよと、そこに黄色で三重交通の分であるとか、これはナッキー号であるとか、これはみどり号ですよと、こんな形のを前に例示でいただいて、今仰っているのは名張市全図的にこういったものの路線図にという話ですよ。イメージ的にはこういうものに近いと思います。

委員 たぶん分かれているところもわかり易いし、そのバス停で黄色と青と分かれるとなっていれば分岐点で、そこで降りればいいところだっていうこともわかります。全然知らない方が利用したときにいいのかなと思うのでこの機会に変えるというのもいいのではないのでしょうか。

委員 それは将来を見越したご意見ですね。ありがとうございます。

委員 ぜひ、名張市中のこんなバスマップが出来るのが、今どちらかといえば、ここの部会で目指すものは本当はこれなんです。全市的なバスマップ的なものを使って利用促進を図りたいのですよね。

委員 そうです。

委員 先程のお話からいくと、契約であれば乗れば乗るほど名張市さんは儲けが出るわけですので、儲かった分を出すというわけではないですよ。規定料金の契約料金がある。倍乗れば倍の収入が増えてくる。それだけの本数が廻せるかもしれませんし、もしかしたらもう一本、バスが出せるかもしれません。収入からいくと、どうしても乗っていただいでいかないと前に進みません。

部会長 他何かございませんでしょうか。実は事務局さんと打合せしていて、ここに乗せる情報ですよ。特に路線図、どういうのを載せていくのとか、運賃もナッキー号とか100円でシンプルですけども、文字の大きさも決まっていたと思うので、そのあたりも出てくると、この時刻表もたぶん、このスペースよりもっと大きなスペース使ってしまうと思うんですけど、この下にくっつける板がもっと大きくなってしまったりかもしれないです。これ路線図が分かりにくければ話にならないので、路線図をどのような路線図にしていくか、今いただいているものにするのか、新規で作るのか、そのあたりは今後の検討課題とさせていただきたいと思います。議事の方は以上3点なのですけれども、まとめて何か、ご意見あるいは良くわからないから教えてほしいとか、ご質問ございませんでしょうか。

委員 バス停の注意事項に戻るのですが両替機が普通はあると思って乗ってしまう時があるのですが、コミバスの両替機は、100円玉がないと困るといふか両替できないですね。それを書いていただいた方が、この間も3人ぐらいで乗ったのでいいのですが、たまたま100円なかったら、知っている方に「100円持ってる?」「持ってる!」という感じで、あとで返すことになりました。そういう意味では乗る際に、両替機には車内にごさいませんかがあるといいと思います。

事務局 ある一定数、各コミバスさんも両替対応していると思われませんが、そのあたり今一度確認をしてみます。

- 委員 そうですか。でも謳ってしまうと両替ばかりになってしまいますね。
- 部長 大まかには言えないですけど、たぶん何人分かは持っていらっしゃると思います。
- 委員 飛躍するような話ですけれども、色んな事を今やってもらって、バスに乗る利用者がかなり増えてきたと、そういう場合は本数を増便するとか、そういう考えは今のところないんですか。
- 事務局 それは各コミュニティバスということですか。各コミュニティバスで実際の運行状況とか把握していただいて、必要に応じて色々な見直しはしていただいていますけど、おそらく費用面とか、そういったところもありますので、なかなか大々的に本数を増やすとかは実質的には難しいのではないかと思います。現にあるルートや便数等で、より使いやすいような形で見直しをされるとか、例えば、ほかのコミュニティバスと乗り継ぎをしやすいような変更をしていくことが基本、中心になってくると思うのですが、直ちに本数を増やすというのは、コミュニティバスごとに実際利用者の状況を見てということになってくると思います。
- 委員 贅沢な悩みとなると思いますけど、例えば乗客がかなり増えてきたと、「あのバス乗ったら混んでかなわんわ」と、そういう有難い苦情も出るかもわかりませんので、そういう対応もこれから頭の中に入れておかななくてはダメという気がします。そういう心配はありませんか。
- 事務局 ナッキー号に関しては、座席が全部埋まってしまって立って乗っているのもう少し大きい車両に変えてほしいというご意見は乗込み調査をしたときにいただいておりますので、今後、車両の入れ替え等があるときにはそういったことも含めて考えなければならないと思っています。
- 委員 高齢者の方とお話ししていたらたまにそういう話も出るんです。言い方が悪いですけど健全な学生さんが座って、高齢者の方が立っているという非常に不思議な状況になっているという話も時々聞くのです。そういう場合はどうしたらいいかと思い、立ちなさいと言うわけにもいきませんしね。
- 事務局 そうですね。バスの事業者さんにも、マナー向上の話になってきますので…。
- 委員 そういう場合は車内放送みたいな形で譲ってくださいと言う方法は取っていないのですか。
- 事務局 各コミュニティバスに関して、そういう対応をしているかどうかということについては、確認をしたことはないです。三重交通さんの方でもそういった車内アナウンスをされるかどうかということも承知していませんので一度、確認はしてみたいと思います。ただ、地域のコミュニティバスについては、席が今現状では埋まるということ、それほど無いようなことみたいです。皆さん乗っていただいた方が席にお座りいただけるような状態だと思います。一点、ナッキー号だけは立って乗っていらっしゃるというのは事実としてありますが。
- 委員 車両を大きくするとか具体的な話は出ていないのですか。
- 事務局 ナッキー号は今現時点で具体的な話はないです。
- 委員 三重交通はストレートに席を譲ってくださいというのはありませんが、優先座席というのはもちろんあります。高齢者とか体の不自由な方の優先座席というのはありますけれども、車内事故でやっぱり高齢者の方が少しのブレーキやカーブで車内でこけて、骨折をしたり、それも事故の関係になってくるんですけれども、そういう意味で全国的に車内事故防止の取組

をしております。ということは、高齢者の方が立って居るということは、先程もお聞きした若い子が座っているというのも一つだと思うんですが、バス協会の方では三重交通さんでもそうですけど全座席の後ろに、一人がけのところに荷物を置いたりというのではなく車内事故防止のために着席にご協力くださいというシールを全部はっております。どの地区もそうだと思いますが、そういった、地域のバスですので、そういったポスターを子どもさんに書いていただくとか、そういったことを図るのもいいのかなと思います。

委員 それと、学生さんの名誉を挽回するのに、ちょっと続編ということで、中には学生さんもお年寄りが乗ってきたら、どうぞと席を譲っていますが、そのお年寄りが座りませんと。せっかく譲っているのに座らない、だから譲れないという声も、聴く場合もあります。そういったところ、難しいなと思います。

部会長 若い人に聞くと席を譲るのが良いのか悪いのか分からないというのが結構ありまして、元気なのに何か申し訳ないというのがあるのですが、うちは学生には言ってみると、言われて気分は悪くしないから言ってみなさいとは言うんですけど、躊躇してしまう子は中にはいます。

委員 言うのがやっぱり体裁悪いとか恥ずかしいというのが心の中であって、どうしても下向いて寝たふりするというのも聞いています。

部会長 基本的には、うちも教育機関なんですけど教育していくしかないですね。先程も言っておりました乗り残しをした場合、基本的には契約にもよりますが、増便して臨時で出してもらって運ぶというのが基本なので、乗り残しというのはおそらく基本的にはないと思います。ただ、今、京都とかだと外国人客がすごいので、住まわれている方がバスに乗れないという状況が往々にしてありまして、増便が出来ないということがあります。おそらくこの名張管内でもそのような状況が来れば、運転手の確保が難しいので増便が物理的に出来ないという状況になる可能性があります。ただ例えばナッキー号が満車になりどうしようもないとなれば、おそらく増便するか、新たな路線を走らせるかというのは検討しないといけないことになってくると思います。それは多分されると思いますが、ただ約束はできないので市の方からは、なかなか言えないですけど、たぶんそれは議論すると思います。

委員 吊皮がちょっと高いでしょう。年寄りの方は手を上に上げて吊皮を持つのも大変というのも考えます。あれを横とか下から出る方法は取れませんか。

委員 車内事故の関係で難しいです。

委員 昔と比べてバスの中に棒がたくさん付いています。あれは手で掴んでもらうためについていますが、突起が出るようなものは危険防止のため駄目だったと思います。

委員 私も上を持つのも無理な人も中にはおられると思います。あれも何とか出来ないのでしょうか。

委員 あれは、人間工学的に三重交通さんは三重交通のバスの中で規定の中でたぶん決まっていると思います。電車でもそうですよね。ご高齢の方は上の吊皮を掴めないですけど。

委員 高齢者は一応、座るのが基本ですね。

委員 バス会社というよりもいすゞとかふそうとかバスを作っているメーカーにそういったご意見が出てくれば規則にのっとった、新しいデザインが出来るので機会があれば伝えようと思います。改造か何かしない限りはバスのメーカーから皆さん、買っているわけですので国内

であればいすゞとかふそうさんとか一時期、ベンツのバスとか言っていましたけど、やっぱり国内メーカーがほとんどですので、そこから普通に出来ている車両を買ってどうしてもという場合は国の規則にのっとって改装して、自らお金をかけて改装するという話です。

委員 出来ないことはないと思います。肘立てのところにバーみたいなものを出して、離れたらボンと上にあがるようなのを、そんな方法もとれるのではないかと思います。そしたら突起物ではないので。

部会長 おそらくいろんな決まりがあると思います。

委員 学生に譲ってもらうしかないですね。

委員 それが一番早いですね。

委員 最近、新聞にも載っていましたが三重県さんがハートマークの首かけを作られて、健常の方でも一見若くても元気そうでも、例えば心臓が悪いとかですね、病後とかで座らなければいけない、代わってほしいという方は言いにくいのでハートマークをかけるのです。キーホルダーになっていまして、鞆とかにハートマークのキーホルダーを付けて、その方が立っていたら、言葉で言うのではなくて席を譲りましょうということで三重県それを始めましたね。

委員 名張市でも市議会で議員さんが質問していただいて、そういうことになりました。妊娠していますというマタニティマークみたいなものがキーホルダーになっていて鞆につけられるようになっていきます。

委員 だから、自分でなかなか声を発信できない人に見てみたら、周りの思いやりで席を譲ってあげて下さいというところに、その発案があります。

委員 逆に代わりますよというマーク作ったらどうですか。

委員 だったら、乗った時に座らなかつたらいいと思います。

部会長 そのほか、ございませんでしょうか。とりえず、議事の方は以上で終了となります。その他のところで若干ありますので事務局の方から説明します。

3 その他

- ・平成30年度 公共交通利用促進の取組について

(事務局より資料に基づき説明)

- ・行き先別時刻表及び鉄道駅におけるバス案内表示の設置状況について

(事務局より資料に基づき説明)

部会長 今のご報告について何かございますか。全体を通してご意見、ご質問はございますか。

事務局 アンケートの内容につきましては、事務局内で精査させていただきまして、実施させていただきたいと思います。当日までに会議を開催できないことをご了承くださればと思います。

部会長 それでは意見も出尽くしたようですので、これにて平成30年度第3回名張市地域公共交通会議事業推進部会を終了とさせていただきます。ありがとうございました。